

## 令和6年第8回教育委員会定例会議事録

招集日時 令和6年8月22日（木曜日）午後2時40分開会／午後3時30分閉会

招集場所 加賀市民会館2階 第2会議室

教育長 島谷千春

出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、佐野明子、新滝有紀子

会議列席者 堀川事務局長、寺西政策官、北市次長兼兼学校指導課長、小茂出教育庶務課長、上出生涯学習課長、  
出淵中央・山中図書館長、左古教育総合支援センター所長、山村次長兼スポーツ課長、前田文化課長、  
山下教育庶務課主幹

令和6年第8回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

○島谷教育長 教科書採択の件、お疲れ様でした。本日は審議事項が3件、報告事項が4件ございますのでよろしくお願いいたします。

それでは議案第36号、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について小茂出課長お願いいたします。

- 議案第36号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について  
小茂出課長 資料に基づき説明

○島谷教育長 この件について何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員 加賀温泉郷マラソンの参加者減少についての質問をさせていただきました。回答としては、不手際があったと考えておりません。コロナの影響とあるんですけども、これはコロナが大きく影響して、当日3日前にPCR検査の義務づけをしましたが、これについてランネット等では大変批判的な意見がたくさん出ていました。それが翌年に影響したとは考えないのでしょうか。

○島谷教育長 山村次長、お願いします。

○山村次長 いろいろなご意見が寄せられたと周知はしております。ただ感染症予防の対策として適切な対策であったと事務局の方では考えておりますので、以上のような回答をさせていただきました。

○島谷教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは議案第36号、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○島谷教育長 全会一致で可決といたします。

続きまして議案第37号、令和6年度9月補正予算（案）についてですが、こちらはまだ議会の提出前なので、後ほど非公開の方でやらさせていただきます。

では議案第 38 号、橋立小中学校義務教育学校について北市次長お願いいたします。

● 議案第 38 号 橋立小中学校義務教育学校について  
北市次長 資料に基づき説明

○島谷教育長 先ほど一緒に提言書を受け取っていただきまして、正式な手続きはまた設置条例等々やらないといけないんですけれども、特に校名に関しましては、ある程度方向性を定めないと校章の準備等々ができないというような影響がございますので、特に校名ですとか、提言書の方向性について、このような方向で進めていかどうかというところをお諮りしたいというふうに思っております。特に今の時点で気になることがあれば、おっしゃっていただければと思います。ご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 先ほど橋立地区の代表の方とも懇談をして、お話し申し上げていたんですけれども、校名が橋立海青学園という名前が出てまいりました。先行しています小松市は、松東みどり学園ということで、あそこの義務教育学校は、緑の中に育まれた自然豊かなところだということで緑学園と、橋立の場合は海に近いということで、橋立の海の青さが非常に子ども達にも印象的に残ったというような話がありましたので、非常に良い名前ができたのではないかなどは考えております。個人的なことを一言だけ申し上げたいと思うんですけれども、橋立小学校ができたときには、北の浜と書いてホクヒン小学校が明治 6 年にできたというふうに伺っております。それから戦後間もなく新生中学校ができるときも、北浜中学校として創立したという経緯がありました。あるいは橋立というやはり北前魂ということが非常に子ども達にも受け継いでもらいたい精神なので、例えば北前船に関係のあるような名前を提案して欲しかったというのが私の個人的な感想です。もちろん旧橋立村というのがありますので、現実に橋立小・中学校というかたちで橋立という名前が残ってくるのは致し方ないかとは思いますが、やはりこれは橋立地区だけじゃなくて、聞きますと特認校ということで全市内から、あるいは全国からこの学校に児童生徒を募集するというような意味もありますので、できれば北前だとか、あるいは当初の歴史的な名前である北浜という名前を残していただければ、例えば北浜海青学園だとか、北前海青学園だとかいう名前にしていただければ、大変個人的にはうれしく思っておりました。これは意見ですのでご検討いただければと思います。それから 2 点目です。校章は校名を踏まえたものを作成して、教育委員会が公募して進めてもらいたいと書いてあります。これは例えば具体的にこの場所で校名が決まりました、そのあとでどのようなスケジュールで行われていくのかということも併せてお教えいただきたいと思っております。

○島谷教育長 今日、提言書が出てきたばかりですが、何か事務局からありますか。

○北市次長 校名につきましては、児童生徒、地域の方々も含めてかなり多数のご意見がございました。今の篠原委員のようなご意見がたくさんございまして、その中で何度も話し合いを重ねまして、10 に絞ったときには橋立北浜学園、橋立北前学園というものも残っておりました。そのあとも何度も議論を重ねて 10 を 3 にして、3 から 1 という中で橋立海青、その海青の方も、海に青だけではなくて、海に晴れるとか、海に清いというものもございまして、本当に何度も熟議を重ねまして一つになったということをご報告いたします。校章につきましては、名前が決まらないと例えばイニシャルが分からないということでございまして、提言の中では校

名が決まってからということでのこのようなかたちになっております。今後は公募するまでに何とか決めたいと思っておりますが、具体的なスケジュールについてはまだ決まっております。

○島谷教育長 他、ございませんか。

○山下委員 校章について、この公募の方法ですけれども、全くの一般公募、例えば児童生徒も含めて一般公募なのか、それともこれはプロにある程度お任せをして、そういった価値のあるものを作っていただくのか。これによって今度、大きく全国展開もしようとして、加賀市に人も来てほしいという部分も多分含まれていると思います。その場合、校章をこのようにしましたというのは、少しそういう名のある方も入っていただいた方がいいという意見を持っておりますので、この校章についての公募方法の大体の方向性をお聞きしたいです。

○島谷教育長 北市次長、お願いします。

○北市次長 開校準備委員会でも話はしておりましたが、原則的にはプロではなくて一般、子ども達、地域の方の思いもございまして、今新しい学校に学ぶ子ども達の意見も踏まえながらということで、後者の方を考えております。

○山下委員 であれば、児童生徒の中である程度こんなかたちにしたいというものを、少しプロではないですけれども、そういう技術関係の方、デザイン関係の方を入れていただく、そういった方向で完成させていただくのがいいんじゃないかなと思います。これは意見です。

○島谷教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 5番の(3)のところ、特色の実現に向けた仕組みとあります。やはり新しい義務教育学校の場合は、特認校になるということをお聞きしていますので、全国あるいは県内あるいは加賀市内からたくさんの児童生徒さんに来ていただきたいという願いがございまして。そのためにはどうかたちにしたらいいのか、1番大事なところはこの教育課程、新しい義務教育学校に来ればこういうことが学べるんだということをきちんとアピールする必要があると思うんです。そのためには今ここに出ているのは4・3・2制、これは私は大賛成の制度ですけれども、それとか自分の興味をとことん探求できる5年から7年の総合を縦割りとして3コース用意するというので、要するに今までの総合学習は単年度で終わってしまう場合があるので、それを継続的にある児童生徒が探究心を進むテーマにずっと持って何年か突き進んでいけるような、3年間を通して同じテーマに対する研究をすることができるということで、3コース案として芸能文化、ものづくり、STEAM、キャリアといろいろ書いてありますけれども、このところも具体的に子ども達に学べるようなテーマだとか、もちろんテーマは子ども達が考えていくことになると思うんですけれども、そういう指導をぜひ先生方をお願いをしたいです。やはり新しい義務教育学校で学んでよかったとか、ここに行けばこんな学びができるんだよとかということ、少なくとも市内の全域、あるいは県内、あるいは先ほども話しました全国にアピールできるような、加賀市のBE THE PLAYERの具現化ができるようなかたちの義務教育学校になってくれたらなと思っておりますので、その旨も併せていろいろ先生が大変だと思っておりますけれども、ご尽力いただきたいと思っております。これは意見ですので、よろしく願いいたします。

○島谷教育長 他、ございませんか。よろしいですか。では一旦、このいただいた提言書の方向で準備を進めていくと。詳細についてはまた随時ご報告、ご相談というかたちにして、大枠としてはこの方向性で進めていくということによろしいかということについてお諮りをしたいと

思います。議案第 38 号、橋立小中学校義務教育学校について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○島谷教育長 全会一致で可決といたします。ではこの方向で橋立小・中学校義務教育学校化に向けて準備を進めていきたいと思ひます。以上で審議事項は終わります。続いて報告事項に入ります。報告第 34 号、令和 6 年 8 月加賀市中学生議会について北市次長お願いいたします。

- 報告第 34 号 令和 6 年 8 月加賀市中学生議会について  
北市次長 資料に基づき説明

○島谷教育長 内容としては、交通事故が春にあった関係で通学路の安全などは非常に関心が高く、それから校舎やトイレの老朽化ですね。暑いのでエアコンの関係もありました。

この件について何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 この中で 1 番気になったのは災害のことです。災害の備蓄のことで錦城中学校の霜下議員さんが質問されたことなんですけど、ご答弁は従来どおり、加賀市では中央公園にある防災備蓄倉庫でそれを運んでいくというようなことなんですけれども、現実問題このあいだ 1 月 1 日に地震がありましたけれども、なかなかスムーズにできなかった。あるいは以前私が現職のときにも私の所属していた学校の児童が同じ質問をしてくれたんです。そのときも当時の市長さんは流通備蓄でまかないますというお話でした。つまりそれでは私は非常に不十分だと前々から思っています。そういうことについて錦城中学校は、当時 3.11 の東日本大震災のときから、当時の校長先生が中心になって、子ども達の PTA 会費の中で乾パンと水を備蓄して、最終的には 3 年間何もなかったらそれを持ち帰って、災害教育に使ってもらうというような取組みをしました。私が現職のときにいましたある学校では、教育後援会費を使わせていただきまして、そこで地域の方が避難できるような数だけの、乾パンと飲料水を準備させて、今でも続いているというふうに思っています。またテントだとか毛布だとか、当時キャンプなどで使っていたもので古くなったものがあつたので、あるいは給食で古くなった食器とかそういうものも備蓄してありますけれども、他の市町は各校区ごとにきちんとした備蓄があるわけです。そういうものに関して加賀市はいわゆる流通備蓄だとか、あるいは中央公園にあるものを運んでくるというようなことで、現実に若干即していないと常々感じております。私自身が現場の職員でおりましたときには、各学校でもし避難者がたくさんいらっしゃると、もう本当に現場の職員としては手いっぱいだという状態が予想されましたので、先ほど言ったような取組みを行ったわけなんですけど、それ以外にも全然今のところ改善されていない、それ以上のものが各学校の中で取組みをなされていないというふうに感じておりますので、できれば市の方で各中学校区でもいいですし、各小学校の中でそういう備蓄ができるような予算化をしていただければ大変ありがたいなと思ひます。これは私の意見ですので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○島谷教育長 所管が市民健康部の方になりますので、またお伝えさせていただきます。他、ございませんか。

○山下委員 今日のテーマとかについて、質問から回答まで、市ですべき部分もありますし、各学校のコミュニティスクールで十分まかなえるところもたくさんあると思ひます。それをぜ

ひ共有いただいて、それが担当課じゃなくても、全体でこんな意見があったよというのをそれぞれ共有いただいて、コミュニティスクールの方でも解決策が図れればと思います。ぜひそういうことをお願いしたいと思います。これは意見です。

○島谷教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 35 号、令和 6 年度加賀市教育総合支援センター業務評価計画書について左古所長お願いいたします。

- 報告第 35 号 令和 6 年度加賀市教育総合支援センター業務評価計画書について  
左古所長 資料に基づき説明

○島谷教育長 この件について何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 大変きめ細かな業務評価計画が出されたと思います。評価の観点というのは非常に私自身も気になるので見ていますけれども、振り返り、アンケート、それからアンケートですね。ほとんどアンケートというのが評価観点の中心をなすものであります。なかなか数値目標での数的な評価というのは難しいんだろうと拝察されますけれども、できるだけ主観的なアンケートというようなものではなくて、評価の観点の工夫をしていただけないかなと思います。これは今年度承認されているということなので、今から変更することはできませんけれども、これからできるだけいわゆる客観的な指標で評価ができるような観点を考えていただきたいということを私の方からお願いをしたいと思っております。

○島谷教育長 どの辺ならできのかなと思いつつ見ましたがけれども。左古所長、お願いします。

○左古所長 おっしゃる通りです。主観的なことになりがちなんですけれども、客観的な意見ということで、子ども達とかそれから関係者の意見を聞くというかたちで今評価の観点を考えております。例えば 1 番の教職員研修につきましては、点数化してそれをもとに評価しているというところもありますけど、本当に今、篠原委員のおっしゃる通り、その部分を検討して工夫を重ねたいと思っております。

○篠原委員 教職員研修などでいろんな研究をなされている方がいっぱいいらっしゃるんで、例えば評価の観点はこういうのがいいんだとか、なかなか計画の立てっ放しやりっ放しというのが往々にしてありがちなので、そういうことも今後は研究、研修あるいは教育研究開発などをしていただければ、これは教育総合支援センターだけではなくて、各学校にも役立つのではないかなと思っております。私もできるだけ具体化したかったんですけど、なかなかできなかったという思いがあります。今新しい BE THE PLAYER で教育実践を行いました、それがどう評価されるのか。これは大変大事なことなので、やりましたというだけでは駄目なので、それがどういうふうな結果でこういうふうな評価を持っているよというふうなことも踏まえて、やはりきちんとした評価を出さないと PDCA サイクルは回らないので、形式的なことではなくて簡単に皆さんさいますけれども、そういうことを実際に子ども達に働くようなこと、そういうふうな評価をぜひ行っていただきたいです。言葉で言うのは、簡単で実際やるのは大変ご苦労もあることは十分にわかっているんですけども、それをあえて左古所長なら大丈夫だということで申し上げました。ありがとうございました。

○島谷教育長 他、ございませんか。

○山下委員 同様の部分の意見なんですけれども、教育支援相談の評価方法が4つのうち3つが ABCD 同じなんです。十分達成できた。それもアンケートとかこちらからの一方方向なんです。もう一つ加えて、フィードバックに対する評価みたいなものもできないのかなというのは、篠原先生も難しいという部分だと思いますけれども、やったという評価よりも、こういうフィードバックがあったという評価を何かしらする部分があれば、もちろんこの後、細かい結果・判断・考察という部分で入ってくると思うんですが、そこを何かしら検証方法を加えられないかなという、これは思いでございますので、篠原先生が大変難しいとおっしゃったので難しいと思いますが、お願いいたします。

○島谷教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは続きまして報告第 36 号、市民文化講演会の開催について上出課長お願いいたします。

- 報告第 36 号 市民文化講演会の開催について  
上出課長 資料に基づき説明

○島谷教育長 この件について何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 37 号、加賀温泉郷寛平ナイトマラソン 2024 の参加申込状況について山村次長お願いいたします。

- 報告第 37 号 加賀温泉郷寛平ナイトマラソン 2024 の参加申込状況について  
山村次長 資料に基づき説明

○島谷教育長 迫ってまいりましたが、この件について何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。今回は走りませんが、応援を頑張りたいと思います。

それではその他で、次回教育委員会定例会日程について小茂出課長お願いいたします。

- 次回教育委員会定例会日程について  
小茂出課長 説明

○島谷教育長 9月26日木曜日、午後1時からということで予定に入れておいてください。

それでは公開で予定されておりました案件につきましては以上になります。ご苦勞様でした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。